

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(ブログ「石油と中東」:https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943)

マイライブラリー:0486

(注)本稿は2019年11月28日から30日まで3回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2019.12.2
前田 高行

JXTG/出光興産と五大国際石油企業の2019年7-9月期業績比較

はじめに

国内1位、2位の石油企業 JXTG ホールディングス(以下 JXTG)と出光興産(出光昭和シェル、以下出光)の9月期決算が相次いで発表された。JXTG は2017年4月に JX ホールディングスと東燃ゼネラル石油グループが合併して発足した会社であり、出光は今年4月に旧出光興産と昭和シェル石油が合併して設立された会社である。

以下は今回の JXTG 及び出光の決算報告の中から売上高、純利益、売上高利益率、上流部門利益及び下流部門利益を取り上げ、国際石油企業メジャー5社(Shell, ExxonMobil, BP, Total 及び Chevron、以下メジャーズ)と比較したものである。

JXTG 及び出光の決算期は4月から翌年3月までであり、これに対してメジャーズは四半期決算をメインとし、その間、1-6月半年決算、1-9月の9か月決算、年末に1-12月の年間決算を開示している。なお日本企業2社の決算は円建てであるが、各社の決算付属資料では JXTG は109円/ドル、出光は108.6円/ドルの為替レートが明記されているため、本資料では便宜上それぞれの為替レートで換算したドル建て表示で比較している。

メジャー各社の昨年1-12月決算及び今年7-9月(第3四半期)の決算比較については下記のレポートを参照されたい。

「五大国際石油企業2018年業績速報シリーズ」(2018.3.2 付け)

<http://mylibrary.maeda1.jp/0459OilMajor2018.pdf>

「五大国際石油企業2019年7-9月期決算速報」

<http://mylibrary.maeda1.jp/0483OilMajor2019-3rdQtr.pdf>

またメジャー五社及び JXTG の詳細な決算資料は下記の各社ホームページをご覧ください。

ExxonMobil:

<https://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-32-billion-third-quarter-2019>

Shell:

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2019/third-quarter-2019-results-announcement.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/third-quarter-2019-results.html>

Total:

<https://www.total.com/en/media/news/press-releases/third-quarter-2019-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-third-quarter-net-income-of-2-6-billion>

JXTG ホールディングス:

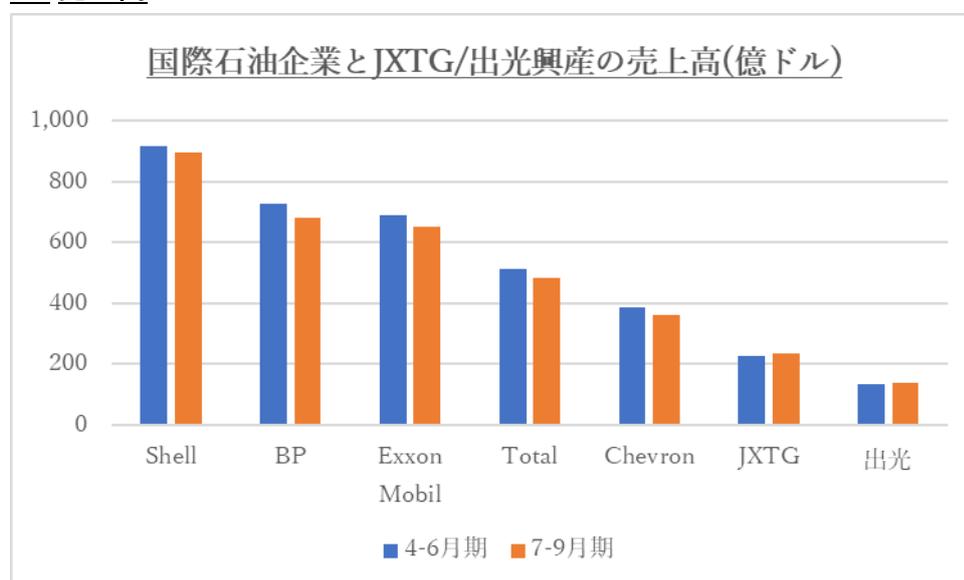
<https://www.hd.jxtg-group.co.jp/ir/library/statement/>

出光興産:

<https://www.idss.co.jp/content/100029059.pdf>

(JXTG の売上高は Shell の4分の 1、出光は6分の 1！)

1. 売上高



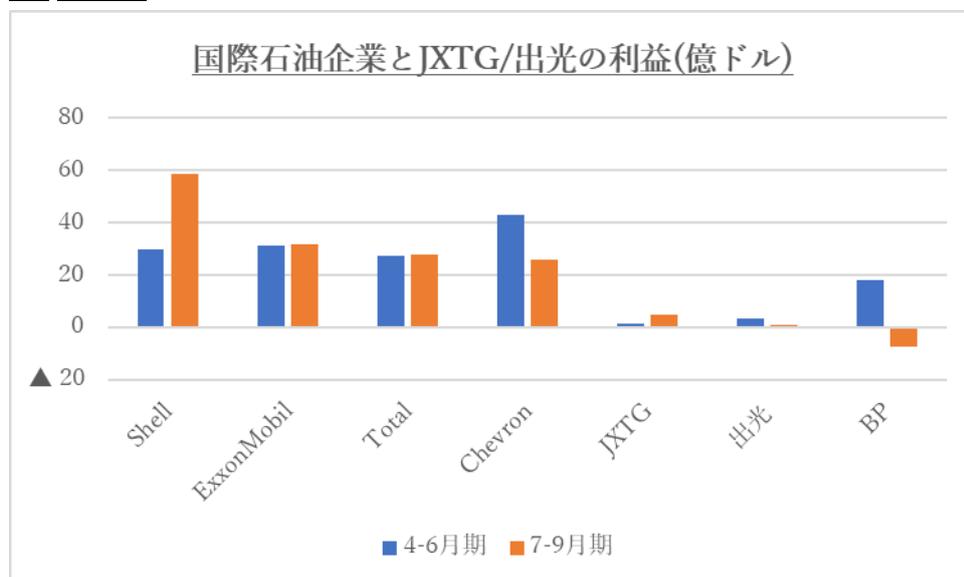
2019年7-9月期の JXTG の売上高は2兆5,482億円、出光は1兆5,237億円である。これを JXTG は1ドル=109円、出光は1ドル=108.6円で換算すると(換算レートは各社の決算説明資料から引用、以下同様)、JXTG は234億ドル、出光は140億ドルとなる。

これに対してメジャーズ5社の同期の売上高は最も多い Shell が895億ドル、ついで BP 683億ドル、ExxonMobil 650億ドル、Total 486億ドル、Chevron 361億ドルである。JXTG はメジャーズ最大の Shell の4分の1であり、出光は6分の1にとどまっている。メジャーズの中で最も売上高が少ない Chevron と比べても JXTG は6割強、出光は4割弱である。売り上げ規模で見れば日本企業と

欧米企業の差は大きい。

(Shell、ExxonMobil に比べ大きく見劣りする日系2社の利益！)

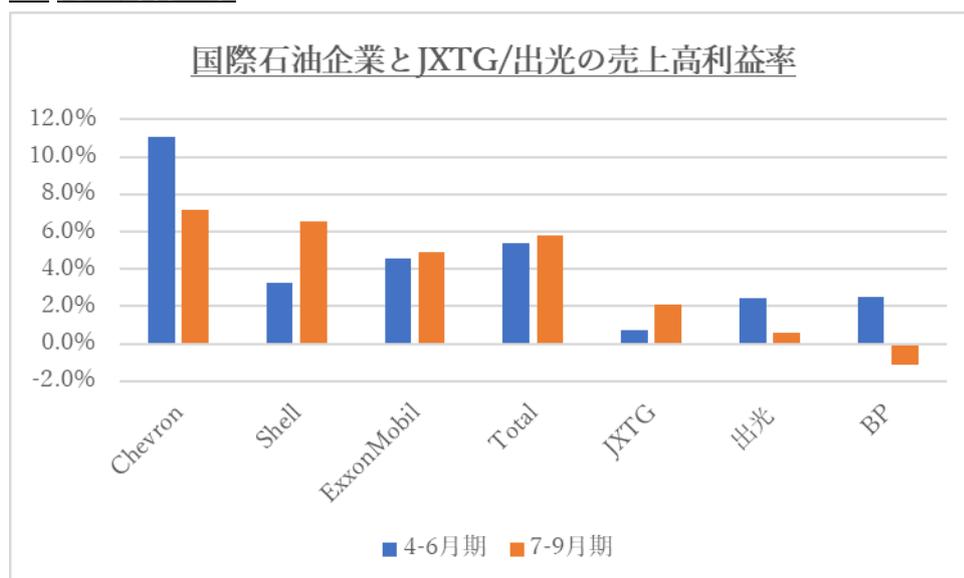
2. 純利益



Shell、ExxonMobil などメジャーズ4社(BP は欠損)と日系2社の純利益は売上高以上に大きな格差がある。JXTG の7-9月期の純利益は537億円(4.9億ドル)であり、出光の純利益は94億円(8,600万ドル)であった。一方メジャーの同期間の利益は Shell の59億ドルを筆頭に、以下 ExxonMobil 32億ドル、Total 28億ドル、Chevron 26億ドルであり、BP だけは7億ドルの欠損であった。JXTG の利益はメジャーズの中で最も利益が高い Shell の8%、出光は1.5%に過ぎない。

(メジャーズ4社の利益率は5%前後、2%にとどまる JXTG の利益率！)

3. 売上高利益率



売上高利益率を比べてみると、利益率が最も高いのは Chevron の7.1%であり、これに次ぐのが Shell 6.6%、さらに Total 5.8%、ExxonMobil 4.9%と続き、BPは▲1.1%であった。これに対し JXTG の売上高利益率は2.1%でと BP を除く4社と比べると2分の1から3分の1にとどまってい

る。また出光の利益率は0.6%であり、JXTG よりさらに低い水準である。

(圧倒的な上流部門の利益格差！)

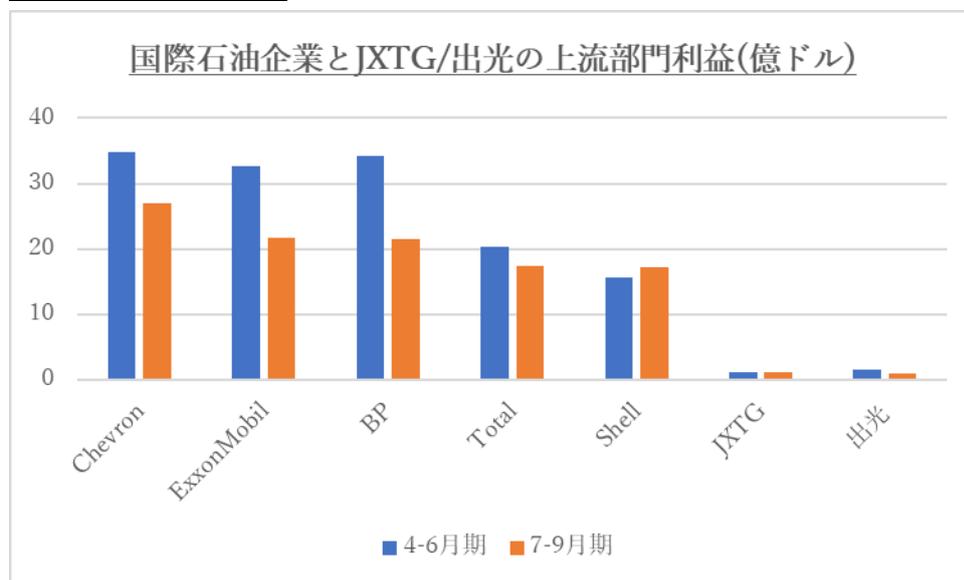
4. 上流・下流部門の業績比較

JXTG 及び出光は元来石油精製事業を専業とし市場も日本国内にとどまっていた。その後、吸収合併を重ね或は事業の多角化を進めた結果、例えば JXTG は日本鉱業の吸収合併により非鉄金属事業が同社の事業の一翼を占めている。また出光は豪州石炭事業或は高機能材などに手を広げている。

これに比べメジャーズは創業当初から石油・天然ガスの開発生産に取り組み、また世界を相手に事業展開を行うエネルギー専業企業としての長い歴史を有している。JXTG、出光両社も石油天然ガスの開発に取り組んでいるが、メジャーズなど世界のエネルギー企業に比べて大きく出遅れており、メジャーズと日系2社の上流部門利益及び下流部門の利益は以下に見るとおり巨大な格差がある。

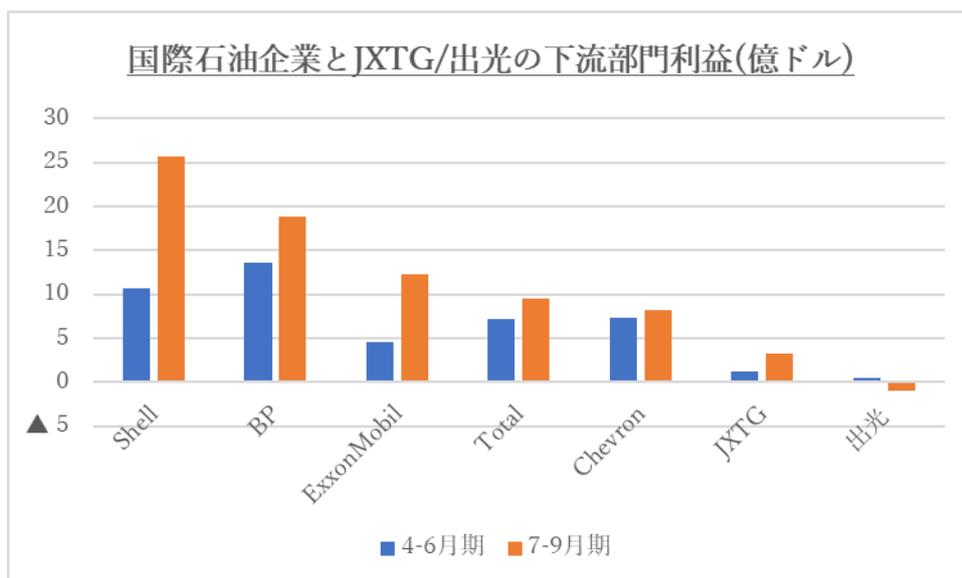
ここではJXTGについては決算書が示すセグメント別業績の内、エネルギー事業(いわゆる石油下流部門)と石油・天然ガス開発事業(いわゆる上流部門)の営業利益を取り上げ、また出光もセグメント別営業利益の燃料油部門と資源部門を取り上げてメジャー5社と比較する。

4-1 上流部門の利益



日系2社の上流部門の利益はJXTGが116億円(1億600万ドル)、出光は103億円(9,500万ドル)であった。これに対してメジャー5社の上流部門の利益はChevronが27億ドル、ExxonMobil 22億ドル、BP 21億ドルであり、TotalとShellが17億ドルで並んでいる。日系2社はいずれも1億ドル前後にとどまっており、欧米メジャーとの格差は非常に大きい。

4-2 下流部門の利益



日系2社の下流部門の利益は、JXTGが362億円(3.3億ドル)の利益に対し、出光は107億円(9,900万ドル)の赤字であった。一方メジャーで下流部門の利益が最も多いのはShellの26億ドルであり、続いてBP 19億ドル、ExxonMobil 12億ドル、Total 10億ドル、Chevron 8億ドルの利益であった。メジャーズ5社はJXTGに比べると、Shellは20倍、最も少ないChevronでも2.5倍の利益を計上している。

なお各社の上流部門と下流部門の利益を比較すると、メジャーズ5社は上流部門が下流部門の2~8倍の高い利益を出している。一方、JXTGは逆に下流部門が上流部門の3倍の利益を上げており、欧米メジャーとは逆の利益構造である。これには種々の要因が考えられるが、一つの要因として現在日本国内ではガソリン価格は原油価格の変動に応じ各社が適正な利潤を確保できるいわゆる価格転嫁が認められているためと言えよう。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp